

審査講評

大牟田市企業局下水処理場等包括的維持管理業務委託者審査委員会
委員長 山崎 惟義

「大牟田市企業局下水処理場等包括的維持管理業務委託者審査委員会」は、大牟田市が行っている下水処理場等の包括的民間委託における第3期目が令和5年3月に委託期間終了となることを受け、第4期目の事業者の技術提案について審査を行うものである。

大牟田市の下水道は、放流先環境に配慮した季別運転、浸水被害防除のための複数雨水ポンプ場の運転、合流式下水道の改善対策など、様々な特徴を有しており、運転維持管理には高度な技術が必要となる。

今回の公募では、「Eグループ」及び「Lグループ」の2グループからの応募があった。両グループとも大牟田市下水道事業への十分な理解があり、豪雨災害への対応力強化や、10年の事業期間を見据えた最新のICT技術の導入など、積極的な提案がなされた。

技術評価点については、「Eグループ」が審査委員の平均で高い評価点となった。なお、両グループともに失格基準を上回る技術評価点であった。

価格評価点では「Lグループ」が最低価格であり、満点の配点となったものの、最終的な総合評価点は、「Eグループ」が高い評価点となり、優秀提案者に選定された。

Eグループは、全般的に現実的且つ具体的な提案が多く見られた。

審査項目では業務体制、運転管理業務、水質管理業務、災害・事故・非常時対応業務といった配点の高い項目において高評価を得ており、選定につながったものと思われる。

運転管理業務では、下水処理管理業務において5人がA評価としており、安定した下水処理管理が期待できる提案であった。

災害・事故・非常時対応業務では、降雨時の人員配置計画において、市のBCP要求水準を上回るなど、特に降雨対応への配慮が見られた。

第4期の包括的民間委託において、Eグループには今回の提案事項を確実に履行してもらうとともに、委託期間が10年であることから、委託期間中であっても民間事業者の新たな創意工夫を発揮してもらい、大牟田市の下水道事業の価値向上に期待するところである。

以上